

第1回 前渡地区木曾川周辺整備事業 新設公園整備に関するワークショップ

日時	令和4年7月29日（金）19：00～20：10
場所	稲羽東福祉センター
参加者数	21名
出席者	<p>【オブザーバー】 河川管理者</p> <p>【事務局】 各務原市役所河川公園課職員 業務受注業者</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 事務局紹介 3. 挨拶 4. 説明 <ol style="list-style-type: none"> (1) 都市計画変更についての報告 (2) 事業の説明 5. ワークショップ <ol style="list-style-type: none"> (1) 意見交換 (2) 発表 6. 質疑応答 7. 閉会
開催の様子	

【ワークショップのとりまとめ】

○開催概要

参加者数	21名（主に公園周辺の住民が対象）
ワークショップ のテーマ	・新設公園でどんなことをしたいですか？ ・新設公園にどんな施設がほしいですか？
ワークショップ の手法	・5グループ（1グループあたり4～5名）に分かれて意見交換 ・各グループの代表者より意見交換のとりまとめを発表

○ワークショップの流れ

- ①参加者を1テーブルあたり4～5名の5テーブルに分け、事務局は進行補助として1～2名がテーブルに参加
- ②参加者よりリーダー（司会進行兼発表者）を選出
- ③リーダーが進行しながら、意見を付箋に記入しシートに張り付けるなど、意見を集める（約20分間）
- ④参加者の意見をとりまとめる（約10分間）
- ⑤各テーブルのリーダーよりとりまとめた意見を発表

【結果のまとめ】

「○」…複数グループの意見 「・」…1グループのみの意見

(1) 現在の公園のイメージ

- ・見晴らしがよく、航空自衛隊岐阜基地の飛行機を撮影しに来る人が集まる
- ・堤防を渡るために迂回する必要がある、近いのに行きづらい
- ・周辺には鹿の子の開墾碑等の史跡が多く、郷土資料館もある

(2) ターゲット層

<属性>

- 子ども 親子 自転車利用者

<地域>

- 前渡や那加等の地元住民 遠方からの来訪者

(3) 公園へのアクセス性

- 県道 95 号（主）芋島鵜沼線は交通量が多く、走行速度も速い傾向にあるため、地域住民や自転車利用者が訪れるためには以下の安全対策が必要
- 公園の中央付近やリバーサイド 2 1 と公園をつなぐ位置等に信号機のある横断歩道
- 車の進入や子供の飛び出しの防止のためのフェンスや生垣
- 北側より堤防下を通り公園につながるトンネル
 - ・前面道路から右折進入できるように道路幅員を拡張
 - ・大型車の駐車や駐車場の出入口の速度規制、公園への必要台数の見直し
 - ・浄化センターのデイキャンプ場方面と往来できる動線の確保

(4) 公園の利活用

① 飲食・物販機能

- カフェ・喫茶店 キッチンカー 道の駅 手ぶらで利用できる BBQ
- コンビニ 地元等の農産物の販売
- ・レストラン ・直売所 ・スーパー ・レンタルサイクル ・昆虫の販売
- ・温泉・入浴施設 ・前渡の史跡の案内 ・店舗の定期的な入れ代わり

② 運動・広場機能

- 子ども向けアスレチック・遊具 水遊び場 木陰等の日陰 ドッグラン
- 木曾川を望む展望台
- ・バトミントン ・子どもの自転車の練習 ・イベントができるステージ
- ・芝生広場（適正な管理が実施できる規模）

③トイレ

- 駐車場側と建物側等、複数個所に設置
- 混雑緩和のため、女性トイレの数を多く設置
 - ・おむつ交換、授乳が可能等の機能の充実
 - ・見に行きたくなるような公園の売りにできるデザイン

④その他の施設等

- 遠方からも訪れたいランドマーク（観覧車、タワー、飛行機（F-4EJ））
- 自転車利用者への対応（シャワールーム、無料コインロッカー、サイクルラック、自転車の洗車スペース、空気入れ・工具の貸出）
 - ・備蓄土の部分で花壇やひまわり等の季節のお花畑、市民農園
 - ・インスタ映えする写真スポット
 - ・サイクリングロード沿いにガードレールを設置

(5) その他の意見

- ・南側の緑地の活用
- ・新愛岐大橋までのサイクリングロードを計画
- ・サイクリングロード、リバーサイド21、浄化センターとの連携
- ・対象地が成功すれば、南側第2期整備予定地を整備

【質疑応答】

発言者	議事内容
参加者	6. 質疑応答 今年度中に Park-PFI に参加する事業者が決まり、どのような整備をしようとしているのかが分かりますか。
事務局	民間事業者を決定するには、プロポーザルを実施して、各者の提案を基に各務原市が民間事業者を決定します。そのため、民間事業者の提案によって整備内容が決まりますが、すべての提案内容が採用される訳ではなく、市の要望やワークショップで出た地域の意見などを加味して協議した上で整備していきたいと考えています。
参加者	次回のワークショップの開催時期はいつ頃ですか。
事務局	今年度末を予定しています。民間事業者が決定し、民間事業者を交えたワークショップを開催したいと考えています。
参加者	もう少し若い方の意見を集めてもらいたいです。若い人たちに利用してもらえる場所になるとよいです。クラス委員会の子どもの意見を聞いてみるなど、工夫してもらいたいです。
事務局	検討してまいります。

以上